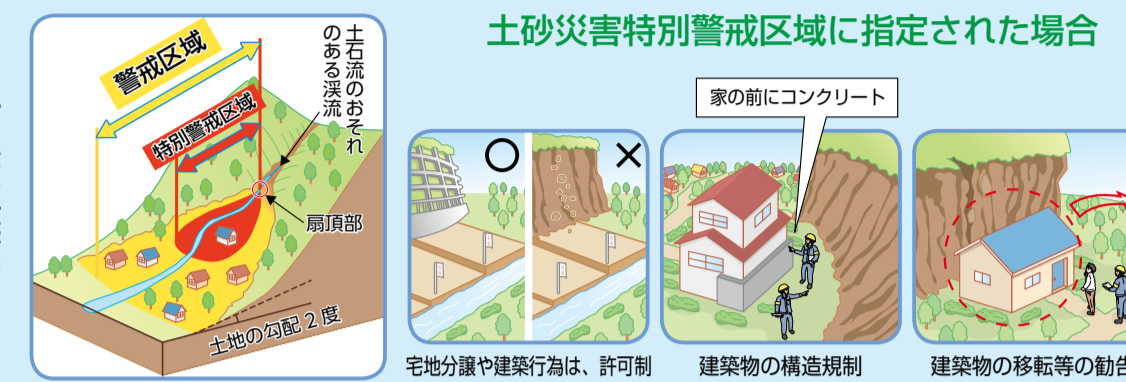


保存版 呉市土砂災害ハザードマップ

〈安浦町② 三津口・内海地区〉

発行：呉市総務部 危機管理課
呉市中央4丁目1-6
TEL0823-25-9326 (直通)
Email: kurekiki@city.kure.lg.jp
制作: 平成28年11月

土砂災害防止法とは
土砂災害（かけ崩れ、土石流）から市民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を指定し、警戒避難態勢の整備や一定の行為の制限を行うものです。



災害から身を守るために(大雨の場合)

気象庁による気象情報



- 大雨により建物の浸水や崖崩れなどの土砂災害の発生が予想される状況です。最新の情報に注意して、非常用品や避難所、避難ルートを確認し、早めの避難を心がけましょう。
- 大雨により建物の浸水や崖崩れなどの重大な災害の発生が予想される状況です。災害が発生する前に、早めに避難を行いましう。
- 台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される状況です。
ただちに命を守る行動をとってください!

インターネットでの防災情報

- 気象情報について
広島県防災 web
<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/index.jsp>
- 土砂災害警戒区域等の確認について
土砂災害ポータルひろしま
<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/map/kiiken.aspx>

土砂災害に備えて

雨の強さと降り方



土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生危険度が高まったとき、広島県と広島地方気象台が共同で発表する情報で、今すぐに土砂災害が発生してもおかしくない状況です。

防災情報や開設している避難所の確認はNHKのデータ放送で



土砂災害と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ土石流やかけ崩れといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、呉市へご連絡ください。

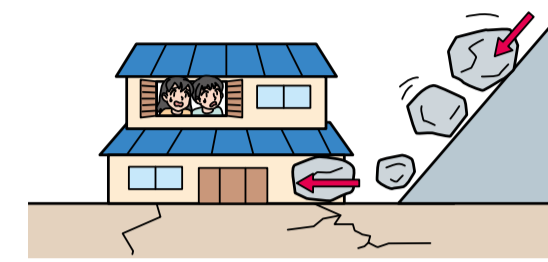


災害に関する情報

避難の情報

自分の身を守るために 早めの避難を心掛けましょう

土砂災害に関する情報や、市からの避難情報が発令されたときは、早めに近くの避難所などに避難する。または、避難所への避難が困難なときは、**頑丈な建物の2階以上で、危険な斜面や崖から離れた場所に**避難してください。



避難サイレンの鳴り方	
避難準備情報サイレン 約5秒 (休止) 約6秒 (休止) 約5秒 (休止) 約5秒 (休止) 約5秒 (休止) 約5秒 (休止)	約2回繰り返し
避難勧告サイレン 約10秒 (休止) 約5秒 (休止) 約10秒 (休止) 約5秒 (休止) 約10秒 (休止) 約5秒 (休止)	約2回繰り返し
避難指示サイレン 約1分 (休止) 約5秒 (休止) 約1分 (休止) 約5秒 (休止) 約1分 (休止) 約5秒 (休止)	約2回繰り返し

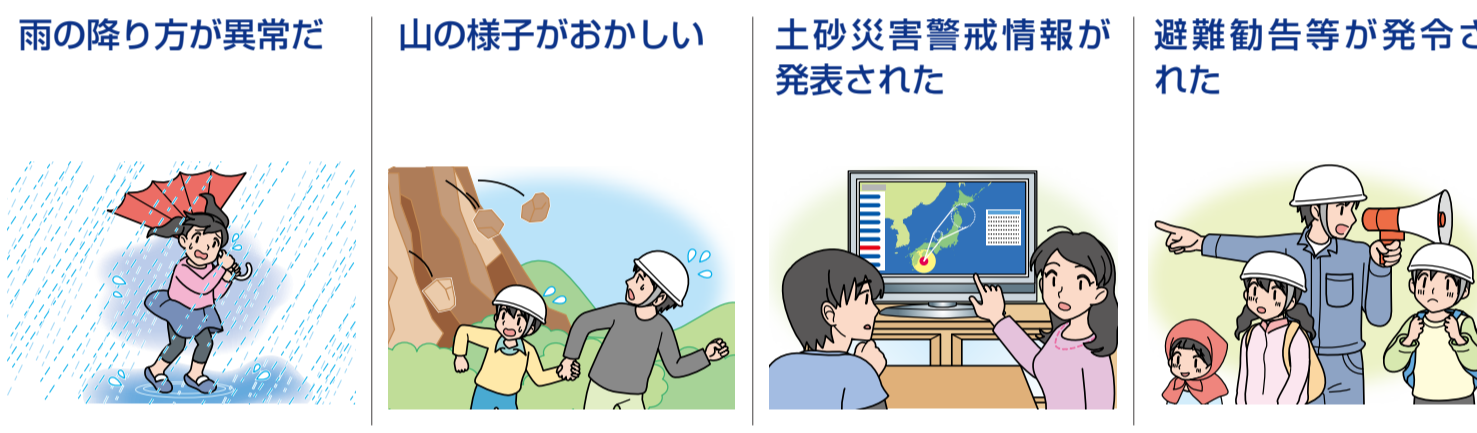
危険度

次の3段階に分けて、市から避難情報をお知らせします

自主避難	避難準備情報	避難勧告	避難指示
市が避難勧告等を発令する前でも、危険を感じたら、 自分の判断で避難してください。 自分ひとりで避難するのが難しい人は、隣近所に協力を求めてください。	高齢者など避難するに時間がかかる人は、早めに避難してください。	災害が発生する恐れがあるため、避難してください。	災害の危険が目前に迫っているため、直ちに避難してください。

避難を開始するタイミング

あなたが避難しようと思ったとき、外は大雨など「外に出たくない」と思わせる状況になっていることもあります。しかし身を守るためには、早めの避難（自主避難）が大切です。危険を察知したら速やかに避難しましょう。



災害に備えて

どう避難すればいいの？

大雨・洪水の時はどうして避難

- 足元に注意
水中の溝等に注意し、長い棒を杖代わりにして確認しましょう。道路は出るだけ真ん中を歩きましょう。
- 小さい子供などは大人とロープで体をつなぎましょう。
- 車は使わず、歩いて避難
あらかじめ決めておいた、よく知っている避難コースを通りましょう。
- 危険なところは避ける
崩れや、狭い道、かけや川のそばは避けましょう。離れた電線には近づかないようにしましょう。

その他避難の時に注意すべきこと

- 家に避難先、安否状況のメモを残す
- 避難するときの服装のポイント
ヘルメット等
長そで、長ズボン
長靴は水が入るとかきつくなるので×
水中でも脱げにくく歩きやすい靴は○
●手袋、手袋
●非常持ち出し袋

非常持ち出し品・備用品の用意

- 持ち出し品が多すぎると避難が大変です。目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。
- 食品・水
乾パン、缶詰など火を過ぎなくても食べられる物やミネラルウォーターなど。
- 救急用品
ハンソウコウ、備薬、包帯、常備薬など。
- 日用品
懐中電灯、ラジオ、電池、ライター、ナイフ、缶切り、ビニール袋、ティッシュペーパーなど。
- 衣類など
下着、上着、タオル、毛布など。
- その他
歯ブラシ、石けん、メガネ、手袋、貴重品など。

災害備蓄品

災害発生時から混乱が収まるまでの間、自ら生活できるように日ごろから準備しておきましょう。

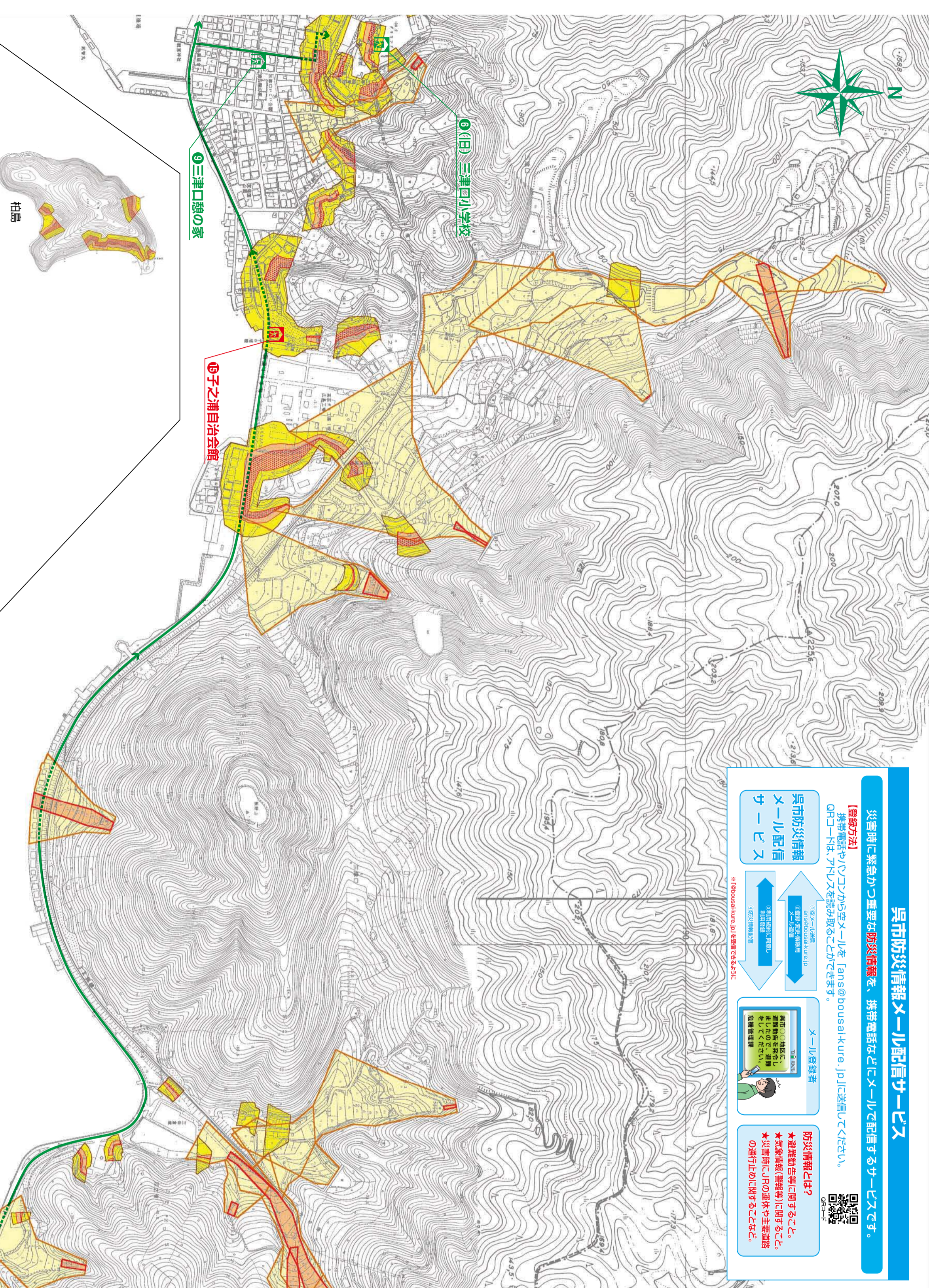
食品	燃料
トイレットペーパー(クッキー・缶詰など)も併せて。缶詰、菓子類	卓上コンロ、固形燃料、予備ガスなど。
水	
飲料水は1人1日3リットルが必要になります。	乾菜類、調理用品、粉ミルクや離乳食、流動食、おかゆなど。

指定避難所等

避難所別	施設名	地震	土砂	津波	高潮	洪水
広域避難場所	① 安登公園	○	○	○	○	○
拠点避難所	② 安浦中学校グラウンド ③ (旧)野路小学校(体育館) ④ 安浦中学校 ⑤ 安登小学校 ⑥ (旧)三津口小学校	○	○	○	○	○
連福社避難所	⑦ 安浦小学校 ⑧ 安浦まちづくりセンター	○	○	○	○	○
地域避難所	⑨ 三津口の家 ⑩ 三津口自治会館 ⑪ 晴海園自治会館 ⑫ 老人福祉センター ⑬ 安浦内海地区 ⑭ 安浦会館 ⑮ 水戸集会所 ⑯ 内海北自治会館	○	○	○	○	○
指定避難所等	⑰ 内海北自治会館	○	○	○	○	○

凡例

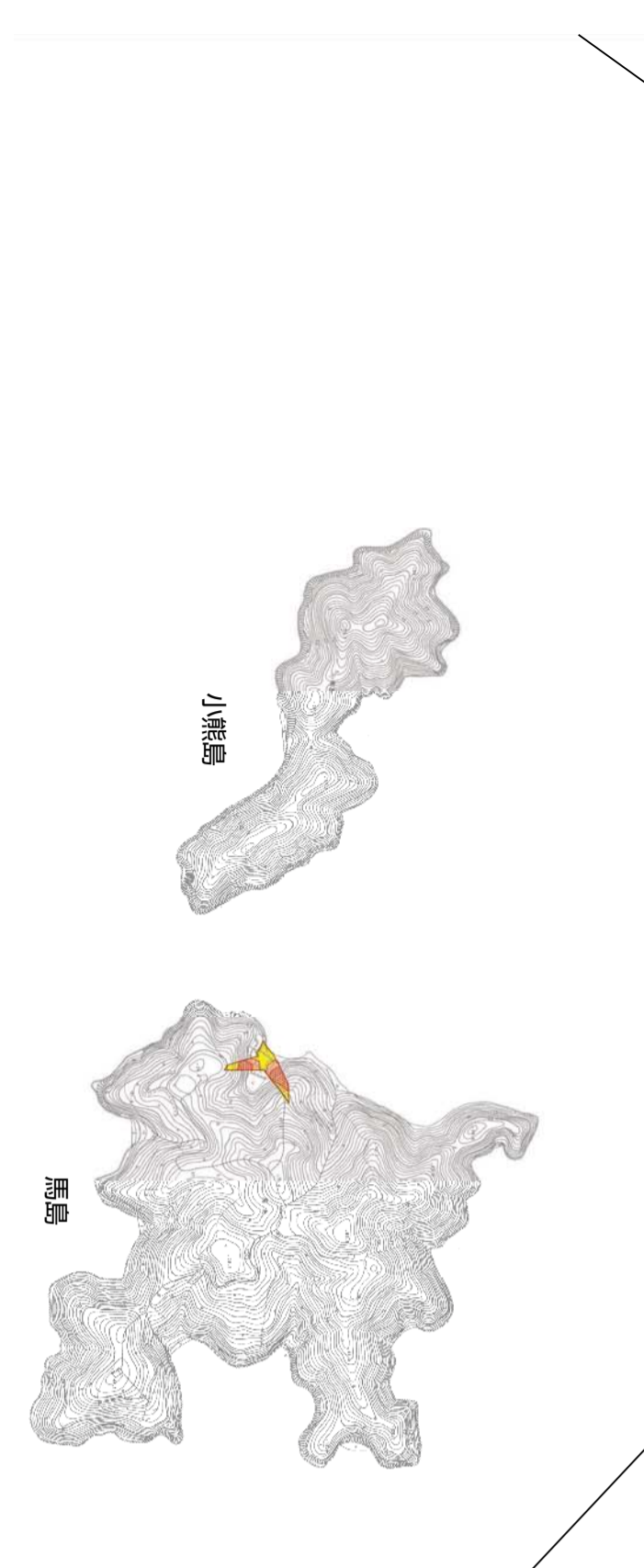
土石流	土石流・特別警戒区域
急傾斜地	急傾斜地・特別警戒区域
急傾斜地・警戒区域	急傾斜地・警戒区域
避難場所	指定避難所(土砂災害の避難所として指定されます) 指定避難所(特別警戒区域として指定されます)
消火警署	警察署
避難路	避難路(危険な崖を渡る避難路)



呉市防災行政無線テレビホンサービス

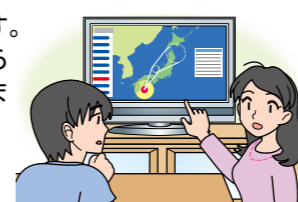
次の番号へ電話をしていただき、防災行政無線放送で放送した内容の受信を確認できます。

- 行政無線の放送 → 聞こえない → テレビホンサービス → 放送内容の確認!
- 0180-998904



■ 気象に関する情報はテレビ等で

防災情報は刻々と変化します。最新情報をテレビやラジオから入手して、安全な行動を取りましょう。



■ 避難訓練に参加

避難訓練は、いざという時に的確に対応するための、欠かせない活動です。積極的に参加しましょう。



凡例

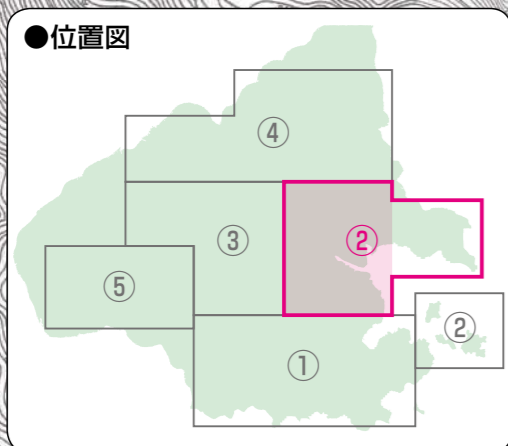
土石流	： 土石流・特別警戒区域
	： 土石流・警戒区域
急傾斜地	： 急傾斜地・特別警戒区域
	： 急傾斜地・警戒区域
広域避難場所	： 広域避難場所 (地震・津波災害時に避難する場所)
避難所	： 指定避難所 (土砂災害の避難所として使用できます。)
	： 指定避難所 (土砂災害の避難所として使用できません。)
消防署	●
警察署	●
避難路	： 避難路
	： 避難路 (危険な区域を通る避難路)

0 100 200 300 400m

指定避難所等

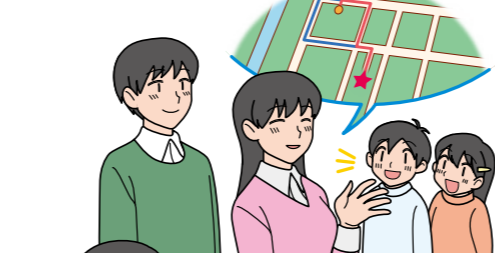
避難所別	施設名	災害種別				
		地震	土砂	津波	高潮	洪水
広域避難場所	① 安登公園	○	○	○	○	○
	② 安浦中学校グラウンド	○	○	○	○	○
拠点避難所	③ (旧)野路東小学校 (体育館)	○	○	○	○	○
	④ 安浦中学校	○	○	○	○	○
	⑤ 安登小学校	○	○	○	○	○
	⑥ (旧)三津口小学校	○	○	○	○	○
	⑦ 安浦小学校	○	○	○	○	○
準福祉避難所	⑧ 安浦まづくりセンター	○	○	○	○	○
	⑨ 三津口憩の家	○	○	○	○	○
	⑩ 三津口西自治会館	○	○	○	○	○
地域避難所	⑪ 晴海園自治会館	○	○	○	○	○
	⑫ 老人福祉センター安浦内海会館	○	○	○	○	○
	⑬ 内海南自治会館	○	○	○	○	○
	⑭ 安浦会館	○	○	○	○	○
	⑮ 子之浦自治会館	○	○	○	○	○
	⑯ 水尻集会所	○	○	○	○	○
	⑰ 内海北自治会館	○	○	○	○	○

1. 災害種別欄の○印は、避難に適応していることを示し、また、○内の数値は階数を示し、その階数以上の階へ避難することを示しています。
2. 赤色で表示されている避難所は、土砂災害の避難所に対応していないため、土砂災害の避難所としては使用できません。
3. 表中に○印が付されていない場合、被害の状況によって安全であると認められる場合には、避難所として開設します。
4. 地震災害欄の空白は、耐震性が不明または、耐震性がないものを示しています。



■ 家族で話し合っておく

災害が発生したとき、どこに避難し、どう連絡を取り合うのか、家族で事前に話し合っておきましょう。



■ 土砂災害ハザードマップを確認する

土砂災害ハザードマップにより、自宅周辺の状況や避難ルートを確認しておきましょう。

